

事業概要

1. 事業目的

本事業は、青葉山1団地内の地震・噴火予知研究観測センターにおいて、老朽化による施設全体の機能低下が著しい他、耐震性能が低いなど安全性が確保されていないことから、安全・安心な研究環境を確保するため改築整備を行うものである。

2. 事業規模等

- ・建物名称 地震変動・地震予知研究センター
- ・構造規模 鉄筋コンクリート造 3階建て 延べ面積：1,370 m²
- ・とりこわし 地震予知センター本館 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階
延べ面積：598 m²
地震予知センター別館 鉄筋コンクリート造 地上1階地下1階
延べ面積：304 m²
地震予知センターA棟 鉄筋コンクリート造 地上3階
延べ面積：517 m²

3. 基本整備方針

- ・本学の「青葉山キャンパスマスタープラン」に基づき、地域に開かれた大学機能の向上やキャンパスの質的向上による知的創造活動の活性化を目的とした改築整備を行う。
- ・地震学及び火山学を中核とした研究と、その他の理学、工学、人文・社会科学分野との連携や、外国人研究員の受け入れ、学外の研究機関等との連携を志向した質の高い研究環境を確保する。
- ・災害発生時においても研究活動の継続性を確保できる整備を行う。
- ・多種多様な研究活動にフレキシブルに対応できるインフラを整備する。
- ・近接する地震予知センターB棟及びC棟の機能を維持しながら改築整備を行う。
- ・限られた建設用地の中で効果的かつ経済的な土地利用計画とする。
- ・環境に配慮した技術を利用し施設の維持管理コストの低減を図る。